

「へるん入試」で入学した学生のみさんの声をご紹介します

へるん スクエア 入学生からのメッセージ



Q.1

なぜ「へるん入試」を受験しようと思ったのですか？

法文学部 Aさん ▼

自分の経験を最大限に活かすことが出来ると思ったから。また、今までの経験を一度自分の言葉で説明できた方が将来役にたつと思ったからです。(今まで自分は何をしてきてこれからは何を研究したいのかを整理した状態で大学に入学した方が絶対プラスになると思ったから。)

総合理工学部 Cさん ▼

私は工業高校出身で、3年間建築を学んできました。クローズアップシートを通して、授業や部活動で建築を学んだこと、建築に関する検定に取り組んだことなどをアピール出来ると思い、へるん入試を受験しようと思いました。

法文学部 Eさん ▼

高校時代に地域活動を行っており、地域貢献への強い思いを持っていた私は、フィールドワークやさまざまな人との関わりを通して、地域課題に対して自分たちでアクションを起こしていく地域人材育成コースにとっても魅力を感じたからです。

教育学部 Bさん ▼

私は高校生の時、合唱部での活動に力を入れ、その活動を通して歌を誰かへ届けることの楽しさを知りました。しかし、実際はコロナ禍によって大会どころか、練習さえも制限されとても悔しい思いを味わいました。そこで、私は合唱で得た感動や悔しさ、そしてどうしたら沢山の人の合唱の魅力がコロナ禍でも伝えられるかという学びのタネを持っていることに気づき、受験を決めました。

生物資源科学部 Dさん ▼

大学受験にあたって、私は高校生活でやってきたことを最大限評価してくれる大学を探していました。そんな折に一年生の時から進路相談をしてもらった先生からへるん入試を紹介してもらったことがきっかけで、へるん入試を受験しようと思いました。

生物資源科学部 Fさん ▼

へるん入試を受験しようと思ったのは、大学でやってみたい研究が出来る環境であったこと、もう一つは共通テストではない方法で評価してくれる入試だったことです。

Q.2

入学前教育(入学前セミナーやぶれ大学Moodleなど)で得たこと、良かったことは何ですか？

法文学部 Gさん ▼

学科の入学前課題として、専門書を読む機会が与えられ、自分の知識を増やすいい機会になりました。また、入学前セミナーの班のメンバー(インストラクターを含む)と入学後も関係を続けることができ、友達が少ない中、履修登録など様々な質問をすることが出来ました。

総合理工学部 Iさん ▼

入学前教育で英語を勉強して、入学してすぐに受けるTOEIC Bridge IPテストや英語の授業の役に立ちました。入学前セミナーでは大学生の話聞き、入学してから必要なことを知ることが出来ました。

教育学部 Hさん ▼

良かったことは二つあります。一つ目はMoodleでの英語です。自分のレベルにあった問題が出題されて、まだ理解できていなかったところに改めて気づくことができました。そこを大学生になるまでの間に勉強できたので、良いスタートを切ることができました。二つ目は入学前セミナーです。Zoomでの活動ではありましたが、先輩方や同じへるん入試で入学した他学部の同回生と話することができました。入学してからも同じ班だった友人と大学で会ったり、直接話したりと交友関係も広がり本当に良かったなと思っています。

生物資源科学部 Jさん ▼

入学直後のテストに向けた勉強や大学生活を送っていくにあたって必要なことを実践することができたのがとてもありがたかったです。